

平成25年度 租税教育に関する研究発表要項

名取市立増田小学校
教諭 佐藤 真一

1 研究主題

税に対する興味・関心を高めさせる指導の工夫
～自ら調べ、主体的に税を考える学習を通して～

2 主題設定の理由

税金に関する学習内容について、社会科学習指導要領第6学年の2内容(2)アでは「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。」として、「政治の働きと税金の使われ方の関係について取り上げ、租税の役割を理解できるようにすること」と示されている。「租税の役割」については、「国や県、市によって行われている社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などに必要な費用は租税によってまかなわれていること、それらは国民によって納められていることなどを理解し、租税が大切な役割を果たしていることを考えられるようにする」とある。イでは「日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めること。」として国民の義務について、「納税の義務を取り上げ、税金が国民生活の向上と安定に使われていることを理解できるようにする必要がある」と示されている。以上のことから、小学校6年生の段階で、税金に対して興味・関心をもち、国民生活の基盤である税金の大切さを理解できるよう指導をすることが必要であると考えます。

本学級の児童の実態を見てみると、日頃から消費税として自ら税金を支払う機会があり、税金という言葉を理解している。これまでの社会科の学習で、歴史的に人々が税を納めてきたという認識もある。さらには、消費税が5%から8%に上がる最近の話題も多くの児童が理解している。税金の意義についても、「みんなからお金を集めみんなの生活のために使われている」と大まかには理解ができている。

しかし、具体的には集められた税金がどんなことに使われているのか、なぜ必要なのかなどについては詳しく考えたことがなく、よく分からない児童が多い。ほとんどの児童は「税金を払うのはきまりだから」「払わなければいけないものだから」ととらえている。このような実態からも、税金の意義や役割を学習することは大切なことであると考えます。

そこで、将来を担う子どもたちに、税金の大切さやその意義を理解させるために、税金について児童が自ら課題をもち、調べる学習を展開することで、児童の税金に対する興味・関心を高め、さらに税金の意義や役割を積極的に理解することができるようになるのではないかと考え本主題を設定した。

3 研究目標

税金をテーマに自ら課題をもち、調べる活動を通して、税金について児童に興味・関心を高めさせる指導の在り方を探る。

4 研究の方法

- (1) 児童に税金に関する意識調査を行い、実態を把握する。
- (2) 実態調査の結果をもとに話し合い活動を行い、税金についての関心を高めさせる。
- (3) 税金への関心をもとに課題を設定させる。
- (4) 課題を追求し、分かったことを新聞形式にまとめさせる。
- (5) まとめたことを発表させる。
- (6) 租税教室での「税金についての話」を受け、学習のまとめをさせる。
- (7) 事後調査を行い、税金に対する意識の変容を考察する。

5 研究の計画

9月	意識調査	実践授業	
10月	実践授業	租税教室	事後調査
11月	研究のまとめ	研究発表	

6 研究の概要

- (1) 税に関する事前の意識調査（回答者36名 複数回答あり）

○税金とは何だと思いますか。

「消費税」と考えている児童（17名）	「国に納めるお金」と考えている児童（16名）
具体的な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・買い物にプラスされるお金 ・人がものを買ったときに出すお金 ・ものを買ったときに足されるお金 ・商品の5%を国におさめるもの ・100円につき5円を払う。来年から8%になる 	具体的な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・お金 ・国に納めるお金 ・払わないと行けないお金 ・国が定めているお金 ・政治に納めるもの

「必要な物」と考えている児童（7名）	「取られるもの」と考えている児童（4名）
具体的な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・国をつくるのに必要なもの ・みんなために払うお金 ・社会保障制度を充実させるもの ・教科書を無料で支給している ・国を支えるお金 	具体的な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・国の利益になる ・お金がなくなる

[考察]

税金＝「消費税」という考え方が一番多かった。「国に納めるお金」、「必要なお金」という意見がある一方で、「取られるお金」と考えている児童も少数いた。

○税金にはどんなイメージがありますか。

<ul style="list-style-type: none"> ・お金を集める制度 ・国が困っている ・払わなければならない ・消費税 ・良いような？悪いような？ ・国と関係がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・強制的にお金を払う ・高くなる ・何%か値段が上がる ・アベノミクス ・5%は多すぎる ・お金が出ている
---	--

[考察]

税金のイメージとしては、消費税として常に払っているためか「払わなければならない」と強制的に取られていると感じている意見が多かった。他にも「国のために払っている」など税金は国と関係していると感じている児童が多かった。

○税金は必要だと思いますか。

「必要」「まあまあ必要」「あまり必要ではない」「必要ではない」から選択

必要（18名）	まあまあ必要（10名）
<p>主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金がなくなったら、国や自分たちが大変 ・国が安定するために税金が必要 ・教科書も税金で、無償で支給されているから ・道路などの工事ができない 	<p>主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国には借金があるから、税金を集める必要がある ・お金がないと、国がやっていけないから ・借金が増えるから ・国がお金を必要としているから ・借金があるから少しは必要

必要ではない（8名）	あまり必要ではない（0名）
<p>主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らない人に取られてしまいそう ・ゲームが買えない ・おこづかいが減る お金なくなる ・集めているだけで何に使うかわからない ・国民が払うお金だけが多くなってお金なくなる 	<p>主な理由</p>

[考察]

税金に対して良いイメージをもっていない児童でも、税金の必要性を考えたとき国のため、生活のために必要と感じている児童が多かった。

事前の意識調査の時の児童の様子

「来年の春108円になるぞ」「じゃ買っておかないと」「税金なくなったらどうなるのかな」「税金は取られるもの」「何に使われているんだ」など様々な意見が出てきた。社会の資料集を見ている児童もあり、税金に何かしら興味をもっているようであった。その日の家庭学習で自主的に調べてくる児童も数名いた。税金のおおまかなイメージはあり、その必要性も感じているが、何のために必要なのか、具体的にはあまり分かっていないと思われる。

(2) 学習計画 (8時間扱い) 社会科・国語科

段階	主な学習活動	時間	資料など
事前調査	・税金に関する，意識調査に取り組む。		
①税金について話し合おう	・税金クイズや意識調査の結果をもとにした話し合いを行い，税金に対しての興味関心をもつ。	1	・わたしたちのくらしと税金 ・パワーポイント資料
②税金をテーマに課題をもとう	・話し合いや税金に関する資料をもとに，自分の調べたい課題を設定する。	1	・パワーポイント資料 ・国税局ホームページ
③課題を調べよう	・自分の設定した課題について調べる。	2	
④調べたことを新聞にまとめよう	・調べたことを新聞形式にまとめる。	2	
⑤まとめたことを発表しよう	・まとめたことをもとに発表する。	1	
⑥租税教室	・租税教室でいままで学習してきた内容について確認をする。	1	
事後調査	・税金に関する，事後調査に取り組む。		

(3) 実践の概要

①税金について話し合おう

<内容>

○税金クイズに取り組む。

○意識調査の結果をもとに話し合いを行う。税金に関するイメージや知っていることを述べ合いながら、興味関心を高める。

- ・税金は何だと思うか？
- ・税金のイメージ
- ・税金は必要か？
- ・どんな税金を知っているか

<児童の様子>

導入として、「税金クイズ」と事前に児童に行った「意識調査をもとにしたプレゼンテーション」を行った。「意識調査のプレゼンテーション」は児童たち自身が答えた内容が提示されるものであったため興味をもって聞いていた。

プレゼンテーションの結果を提示している中で児童が一番驚いていた場面は，税金の必要性に順位をつけて紹介した時であった。税金に対するイメージは「強制的にお金を払う」「払わなければならない」など，どちらかといえばマイナスイメージの意見が多かった。そのため税金の必要性について「必要」「まあまあ必要」「あまり必要でない」「必要でない」の4択の中で「必要」は最下位になると児童たちは予想をした。ところが事前の意識調査の結果としては「必要」と答えた児童がクラスで1番多い結果になり，自分たちの予想と違っていたことに大変驚いていた。税金はあまり良いイメージがないものの，「必要なもの」

という考えが多い結果に、児童からは「税金を必要と考えている人が多いことが意外だった」「税金が必要という意見は自分と同じだった」など様々な意見が出された。

その後の話し合いの中で「税金が必要だと考えた人は、税金がないと工事が出来なくなるなど理由まで深く考えている」「税金への考えに差がある」など意見が出され、少しずつ興味関心が高まっていった。



②税金をテーマに課題をもとう

<内容>

前時に話し合ったことや税金の資料をもとに、自分の調べたい課題を設定する。

<児童の様子>

「税金にはいろいろな種類がある」「教科書には税金が使われている」「今度消費税が8%になる」など話し合いの中で出てきた話題をもとに、興味のあることや調べてみたい内容から課題を設定する児童が多かった。前時の学習後に自主的に調べ始めた児童はその内容を自分の課題としていた。一人一人の課題がある程度できあがったところで、全体に紹介したところ、他の課題に興味をもち変更する児童がいた。また、課題が見つからない児童には友達の課題が参考になっていた。

児童が設定した課題

税金にはどんな種類があるか
税金を使って作られている物にはどんなものがあるか
なぜ消費税を8%にしたのか
税金はどんなことに使われているか
外国の消費税について
税金はどんなことに役立っているのか
税金の歴史について
学校では税金がどのように使われているか
税金のいきつく先はどこか
税金はどのように集められているか
税金とは何か
名取市の税金について
もし税金がなかったら



③課題を調べよう

<内容>

自分が設定した課題について調べる。

<児童の様子>

宮城県租税教育推進協議会から頂いた「わたしたちの暮らしと税金」、国税局ホームページなどのインターネット資料、図書室の資料などを使い自分の課題について調べる活動に取り組んだ。税金の種類は調べてみると、地域限定のものなど細かいものまでいろいろとあることなどが分かり驚いていた。



④調べたことを新聞にまとめよう

<内容>

課題について調べた内容を「税金新聞」という形でまとめる。

<児童の様子>

1学期の総合的な学習の時間に、修学旅行で行った岩手の事について学んだことを新聞形式にまとめた。その経験があるため、集めた情報をもとにあまり迷うことなくまとめることができていた。



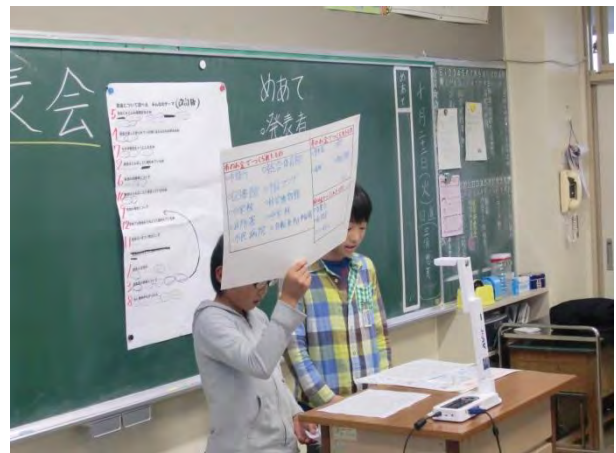
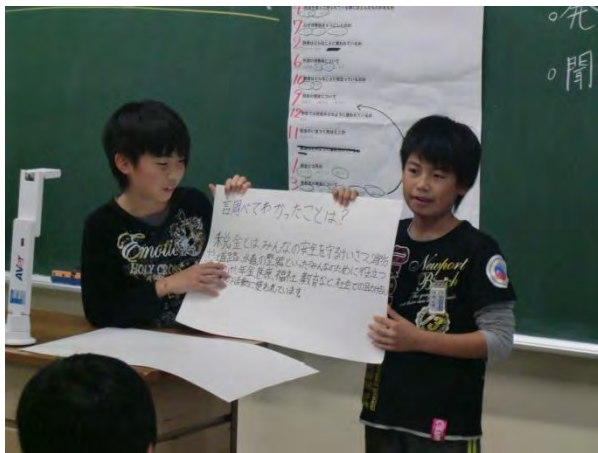
⑤まとめたことを発表しよう

<内容>

まとめたことをもとに発表をする。

<児童の様子>

それぞれの課題ごとに、調べたことを発表する活動を行った。新聞にまとめたことを使い発表したり、新たに画用紙で資料を作り発表したりした。友達の発表を聞きながら、自分が知らなかった税金の事について学習する機会となった。学習後には「税金はお金ではない形で昔からあった」「外国の消費税は日本より高いので、日本の消費税が高いとは言えないかもしれない」などいろいろな感想が聞かれた。



⑥税金教室

<内容>

税金教室でいままで学習してきた内容について確認をする。

<児童の様子>

税理士の木村さんに来ていただき、税金に関するクイズ、ビデオの視聴、税金の使われ方についての話し合いを行った。税金について、専門家の方から話をしてもらえるということで、児童は興味をもち税金について考えていた。「税金の種類」、「もし税金がなかったら」、「どんなことに税金が使われている」など授業の中に自分たちが調べた内容が話題に出てきていた。このことで児童の感想には「税金のことを調べていたので、知っていることもでてきていろんなことが分かった。」「ビデオは一度インターネットで見たことがあり復習のように見た。やっぱり税金がなくなったら大変だとあらためて思った。」などの意見があり、税金学習のまとめとしてとても有意義だった。その他の感想には、「税金を調べて税金のことは分かってはいたけれど、今回の税金教室でもっと分かりました。」「自分が調べたこと以外にも税金のことについて知ることができた。」など意見があり、税金のことについてさらに理解を深める機会にもなった。



(4) 税に関する事後の意識調査 (回答者34名 複数回答あり)

○税金は必要だと思いますか。

「必要」「まあまあ必要」「あまり必要ではない」「必要ではない」から選択

	事前調査 (36名回答)	事後調査 (34名回答)
「必要」	18名	33名
「まあまあ必要」	10名	1名
「あまり必要ではない」	0名	0名
「必要ではない」	8名	0名

○税金の学習をしてみたの感想（抜粋）

- ・「学習する前は、税金のことを全然知らなかったけれど、学習した後は、税金が何に使われているのかなどが分かりました。」
- ・「税金は市民からお金を取るだけだと思っていたけれど、かなり重要で必要だということが分かりました。」
- ・「税金は必要ないと思っていましたが、ないと大変なことになると思いました。それから、こんなに税金の種類があるとは思いませんでした。」
- ・「税は昔からいろいろな形で納められていることが分かりました。」
- ・「税金は悪いイメージがあるけれど、税金のことを詳しく調べて、国民のために役だっているんだと思いました。」

[考察]

事前調査でも税金はある程度必要と答えていた児童であったが、事後調査ではほぼ全員が必要と答えていた。これは、今回の学習を通してより具体的に税金の使われ方、税金がなくなったらどうなるかを学ぶことができたからであると考えられる。学習後の感想からは、やはり「税金の種類」「税金の歴史」など自分の調べた課題について、分かったことが多かったという感想があった。調べることで税金に対する知識を深めていったと考える。

7 研究のまとめと課題

<成果>

- ・導入で「意識調査のプレゼンテーション」を行った。自分や友達の考えが紹介されるとうことで大変興味をもって聞いていた。税金に対する関心が一気に高まり、これから学習しようとする意欲につながることができた。
- ・「税金の種類」「税金の必要性」「税金の歴史」など、自分で調べたテーマについては、より具体的に理解することができた。また、そのことにより税金に対する興味・関心も更に深まったと考えられる。
- ・調べたことは、新聞形式にまとめさせた。これまでの学習でも経験しているやり方のため、まとめ活動にも意欲的に取り組む姿が見られた。
- ・税務署の方からの租税教室を授業のまとめとして行った。税金について自分で課題をもち調べた後での学習のため、内容の確認や新たな知識の習得ができ、まとめとしてとても有意義だった。

<課題>

- ・名取市の税金の使われ方など、より身近な話題に触れさせることができなかった。地域素材の活用などが必要であった。
- ・今回の学習を通して税金の種類や必要性などの認識には、大きな成長が見られた。自分たちの学校の様々な物品も税金でまかなわれていることを知ることができた。大切に使う、無駄にしないなど今回学習したことを今後の生活の中で生かしていくことが必要である。

税金新聞

税金新聞 税金新聞 税金新聞

救急車 約250万円

救急車がなくなると、交通事故や急病で倒れた人を救済できなくなります。救急車の運行には多くの税金が使われています。

警察官

警察官がなくなると、犯罪が増え、社会が不安定になります。警察官の給与や研修には税金が使われています。

交通案内 1件 約200円

交通案内がなくなると、通勤や通学に不便が生じます。交通案内の提供には税金が使われています。

感想

税金がなくなると、社会が破綻します。税金は私たちの生活を支えている大切なものです。

税金の種類

税金の種類は、所得税、消費税、法人税、相続税などがあります。それぞれが社会の発展を支えています。

税金の役割は、社会の維持と発展にあります。税金を適切に支払うことは、私たちの義務です。

もし税金がなくなると...

学校の授業料、道路の整備、公園の管理など、税金がなくなると社会は機能しなくなります。

税金の種類

税金の種類は、所得税、消費税、法人税、相続税などがあります。それぞれが社会の発展を支えています。

税金の役割は、社会の維持と発展にあります。税金を適切に支払うことは、私たちの義務です。

税金の種類

税金の種類は、所得税、消費税、法人税、相続税などがあります。それぞれが社会の発展を支えています。

税金の役割は、社会の維持と発展にあります。税金を適切に支払うことは、私たちの義務です。

税金新聞

税金は何に役立っているのか？

- 小学校
- 市役所
- 図書館
- 公民館
- 道路
- 消防署
- 消火場
- 市立病院
- 警察官
- 公園
- 橋
- 浄水場
- 下水道

税金の種類

税金の種類は、所得税、消費税、法人税、相続税などがあります。それぞれが社会の発展を支えています。

税金の役割は、社会の維持と発展にあります。税金を適切に支払うことは、私たちの義務です。

感想

税金がなくなると、社会は破綻します。税金は私たちの生活を支えている大切なものです。

税金の役割は、社会の維持と発展にあります。税金を適切に支払うことは、私たちの義務です。

税金新聞

税金日記大立て

学校で使われている
税金日記

税金日記大立て...
税金日記大立て...
税金日記大立て...

もし税金がなかったら

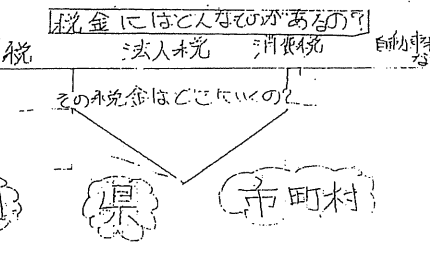
もし税金がなかったら...
もし税金がなかったら...

私の身分で税金がはいりません

私の身分で税金がはいりません...
私の身分で税金がはいりません...

もし税金がなかったら...
もし税金がなかったら...

税金のしくみはどのようになっているの?



所得税

所得税...
所得税...

税金のしくみはどのようになっているの?...
税金のしくみはどのようになっているの?...

もし税金がなかったら...
もし税金がなかったら...

税金新聞

発行日
10月 11日

税金でこんなものがあるの?

種類	税率
酒税	20%
たばこ税	10%
石油類	10%
砂糖	10%
小麦粉	10%
大豆	10%
雑穀	10%
雑穀類	10%
油脂	10%
油脂類	10%
菓子	10%
菓子類	10%
砂糖	10%
小麦粉	10%
大豆	10%
雑穀	10%
雑穀類	10%
油脂	10%
油脂類	10%
菓子	10%
菓子類	10%

税金の歴史新聞

税金の歴史新聞...
税金の歴史新聞...

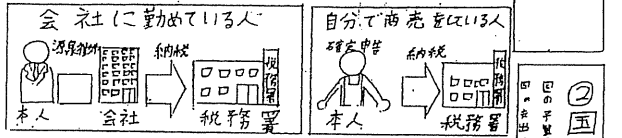
税金のしくみはどのようになっているの?...
税金のしくみはどのようになっているの?...

税金がなくなった、たいていどうなるの?...
税金がなくなった、たいていどうなるの?...

税金の旗新聞

のまぜ財務省へ

税金の削減に努めたい。これは財務省の意向だ。でも、削減の仕方をどうするか。削減の幅をどのくらいにするか。削減の時期をいつにするか。削減の優先順位をどうするか。削減の効果をどう評価するか。削減の負担をどう配分するか。削減のリスクをどう管理するか。削減の透明性をどう確保するか。削減の公平性をどう確保するか。削減の持続性をどう確保するか。削減の効果をどう最大化するか。削減の負担をどう最小化するかに努めたい。削減の効果をどう最大化かに努めたい。削減の負担をどう最小化するかに努めたい。



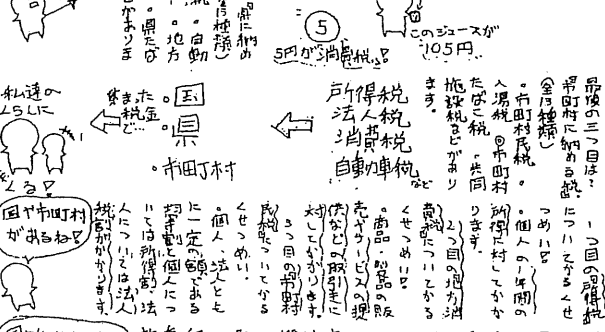
国会へ提出

国会で提出された法案。税金の削減に関する法案。削減の幅をどのくらいにするか。削減の時期をいつにするか。削減の優先順位をどうするか。削減の効果をどう評価するか。削減の負担をどう配分するか。削減のリスクをどう管理するか。削減の透明性をどう確保するか。削減の公平性をどう確保するか。削減の持続性をどう確保するか。削減の効果をどう最大化するか。削減の負担をどう最小化するかに努めたい。

	直接税	間接税
国税	所得税、法人税、酒税、たばこ税、消費税	酒税、たばこ税、消費税
道府県税	住民税、固定資産税、自動車税、自動車重量税、自動車取得税、自動車燃費税、自動車燃費特別徴収金	酒税、たばこ税、消費税
市町村税	固定資産税、自動車税、自動車重量税、自動車取得税、自動車燃費税、自動車燃費特別徴収金	酒税、たばこ税、消費税

税金新聞

税金の種類と分類。国税、道府県税、市町村税。所得税、固定資産税、自動車税、自動車重量税、自動車取得税、自動車燃費税、自動車燃費特別徴収金。消費税、酒税、たばこ税。



国に納める税金

所得税、法人税、酒税、たばこ税、消費税。道府県に納める税金: 住民税、固定資産税、自動車税、自動車重量税、自動車取得税、自動車燃費税、自動車燃費特別徴収金。市町村に納める税金: 固定資産税、自動車税、自動車重量税、自動車取得税、自動車燃費税、自動車燃費特別徴収金。

税金の種類と分類

国税、道府県税、市町村税。所得税、固定資産税、自動車税、自動車重量税、自動車取得税、自動車燃費税、自動車燃費特別徴収金。消費税、酒税、たばこ税。

国税	道府県税	市町村税
所得税、法人税、酒税、たばこ税、消費税	住民税、固定資産税、自動車税、自動車重量税、自動車取得税、自動車燃費税、自動車燃費特別徴収金	固定資産税、自動車税、自動車重量税、自動車取得税、自動車燃費税、自動車燃費特別徴収金

所得税... 働いている人は給料から差し引かれる。
 固定資産税... 家や自動車を持っている人は税金を納める。
 自動車税... 家や自動車を所有している人は税金を納める。
 法人税... 会社を営む人は税金を納める。
 消費税... 買い物をするときに追加の税金。



感想

税金の種類や分類を、インターネットで調べた。いろいろな税金がある。税金の種類や分類を、インターネットで調べた。いろいろな税金がある。税金の種類や分類を、インターネットで調べた。いろいろな税金がある。

税の歴史新聞

税は100年前から分かった!! 弥生時代、縄文時代、室町時代、徳川時代、明治時代、大正時代、昭和時代、平成時代。税の歴史は長い。税の種類も多岐にわたる。税の役割も大きく変化した。税の公平性を確保するために努力が続けられている。

平成時代の感想

平成時代の税金。消費税の導入。所得税の改正。固定資産税の改正。自動車税の改正。自動車重量税の改正。自動車取得税の改正。自動車燃費税の改正。自動車燃費特別徴収金の改正。税金の負担を軽減するために努力が続けられている。